

○今月の病害虫発生状況○

- ・ **灰色かび病**及び**うどんこ病**は、発生ほ場率、発生株率とも平年より低く、少ない発生です。
- ・ **ハダニ類**は、一部で発生株率が高いほ場がありますが、平年並の発生です。
- ・ **アブラムシ類**は、発生ほ場率が平年より高く、やや多い発生です。

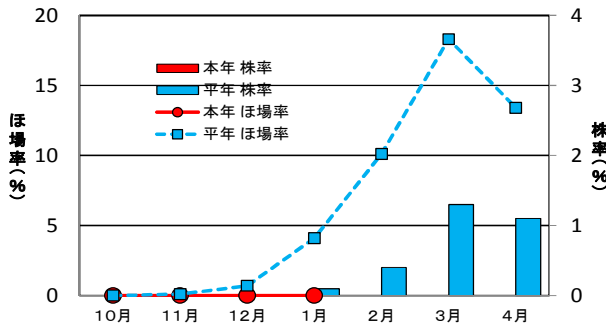


図1 灰色かび病発生ほ場率・株率

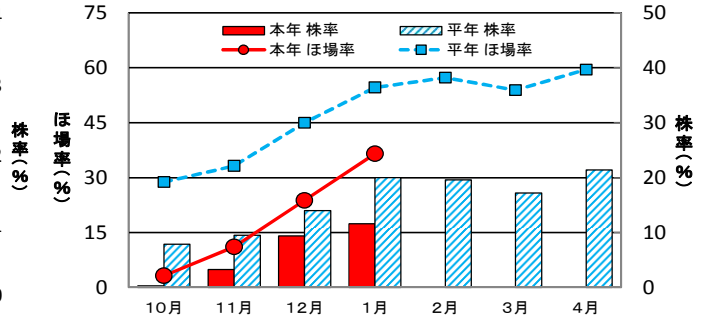


図3 ハダニ類発生ほ場率・株率

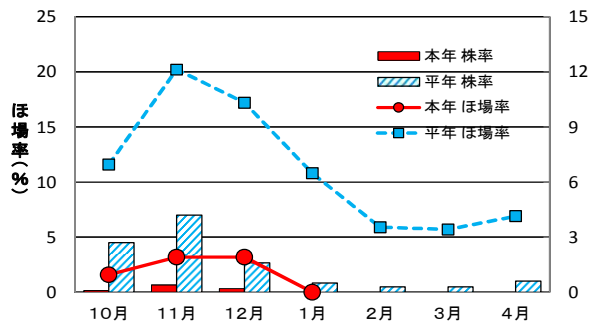


図2 うどんこ病発生ほ場率・株率

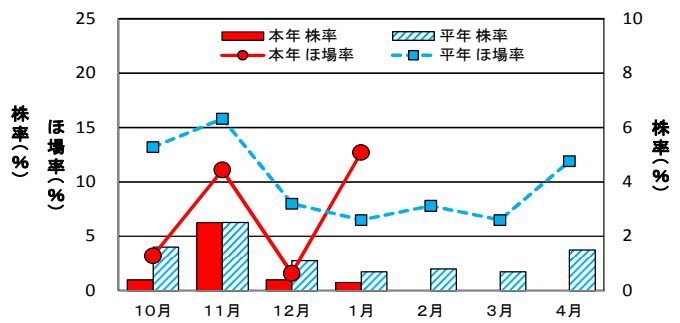


図4 アブラムシ類発生ほ場率・株率

○今月の技術情報 (技術指導班) ○ (1月)

・病害虫の発生は、全体的に平年並～やや少ない傾向です。しかし、乾燥状態が続いていることから、一部でハダニ類やアブラムシ類の発生がやや多く見られますので、注意が必要です。

・2月以降は、例年降水量が増加し、ハウス内の湿度が高くなり、病害が発生、拡大しやすい環境となります。下葉の除去等の管理作業、ハウス内の適正な温度管理や換気等により、病害の発生しにくい環境づくりに努めましょう。

・今後1か月間は、1年間で最も気温が低くなる時期です。ハウスの隙間をなくし、保温効果を高めましょう。また、授粉用ミツバチの活動が弱まりやすい時期ですので、活動状況を確認しましょう。



写真1 うどんこ病



写真2 ハダニ類